週刊 観光経済新聞
宿泊・旅行業・運輸・自治体（観光全般）
第2部

特集

ツーリズムEXPOジャパン2026

「進化する旅のカタチ」を発信

主催3団体トップ鼎談

日本政府観光局（JNTO）
理事長　蒲生 篤実氏

日本旅行業協会（JATA）
会長　原 優二氏

日本観光振興協会
理事長　最明 仁氏

――（司会＝本社・向野 悟）今年のツーリズムEXPOジャパン（TEJ）のテーマは「進化する旅のカタチ」。旅行市場の現状、観光産業の動きについてどう捉えていますか。

原会長　インバウンドは非常に好調、国内旅行は堅調、それに比べてアウトバウンドはいまだコロナ前の水準に戻っていない。基本的なトレンドは、昨年からあまり変わっていない。

インバウンドは伸びが鈍化した感はあるが、中国の団体旅行が減少している中でも、全体としては好調に推移している印象だ。日本人の国内旅行も消費額で見ると、2025年は26・8兆円と統計上過去最高で好調といえる。

その一方で、アウトバウンドは回復の遅れが続いている。国の施策でパスポート（旅券）の取得費用が引き下げられ、これから良い方向に向かうと期待しているが、国内外の物価高や円安、さらに中東情勢が需要回復にブレーキをかけている。戦争が行われるような情勢下で観光を振興することは難しい。一日も早く平和な世界になってほしい。

「旅のカタチ」という観点では、いずれの旅行分野でも、団体旅行からFIT（個人旅行）へのシフトがさらに進んでいる。目的型の旅行が増え、複数の観光地を周遊するより、ピンポイントで特定の地域を訪れ、旅行者それぞれの目的を達成するような旅行形態が多くなっている。旅行産業においてもコロナ禍を契機にビジネスモデルが変わってきた。コモディティ化した商品の価格競争は下火になり、高付加価値商品が前面に出てきた。高付加価値化の流れは、旅行会社にとっては望ましい状態だ。

――日本人の国内旅行や観光地域づくりの動きは。

最明理事長　国内においては、一昨年の能登半島地震に続き、今年の夏も熊本地震、各地の豪雨など大な自然災害が発生した。甚大な被害で観光分野への影響も大きく、政府の支援策はもとより、産業界としても需要回復、産業復興に貢献していく必要がある。

夏の旅行シーズンが終わったところだが、この夏も「酷暑」が話題になった。気温の高さも旅行需要に大きな影響を与える要因となっている。国内の観光市場は全体としては堅調といわれるが、旅行者の価値観や旅行スタイルの変化にとどまらず、自然災害や気候の変化にも左右され、地域によって好調、不調が大きく分かれるといった印象を持っている。

「旅のカタチ」ということでは、われわれ3団体の主催で、優れた観光の取り組みを表彰し、TEJ内で授与式を行う「第10回ジャパン・ツーリズム・アワード」に、今回272件という過去最高の応募があった。その受賞案件を見ると、地域づくり、人づくり、コンテンツづくりを重視した取り組みが高い評価を受けたことが分かる。これまで地域や観光産業は、交流人口を増やすことに躍起になってきたが、今は交流人口だけではなく、関係人口をしっかりつくり、そして定住人口につなげていこうという考えが主流になってきた。そうした流れを生む「旅のカタチ」が今後の観光の基礎になっていく。

――訪日外国人旅行者数は2025年に、過去最高の4268万人を記録しました。

蒲生理事長　難しい国際情勢下にはあるが、そうした状況にありながらも、訪日旅行市場はおおむね堅調に推移していると考えている。ただ、持続可能性という観点から見ると、いろいろな環境の変化、条件の変化に慎重に対応していく必要がある。

訪日旅行の大きな変化の一つは市場の多様化。コロナ禍以前は、東アジアに依存してきた面があるが、欧米豪、東南アジア、インドなどさまざまな国・地域から日本を訪れてもらえるようになった。特定の市場が落ち込んでも、他の複数の市場が全体を補ってくれる状況は大変心強い。

インバウンド好調の要因は円安だと指摘されることがあるが、これだけ多様な国・地域の旅行者が日本を訪れ、日本でお金を使ってくれる要因は為替の影響だけではない。JNTOや自治体、産業界が継続して実施してきたプロモーションの成果であり、さまざまな国・地域で、日本に対する関心が高まっていることを反映していると捉えている。

多様な旅提案、関係人口も拡大

旅の総合イベント「ツーリズムEXPOジャパン（TEJ）2026」が9月24～27日、東京ビッグサイト（東京都江東区）で開催される。旅行者の価値観の変化、テクノロジーの進化を踏まえ、旅のスタイルが多様化する中、今年のツーリズムEXPOジャパンは、「進化する旅のカタチ」をテーマに掲げた。開幕を前に、主催3団体のトップ、日本旅行業協会（JATA）の原優二会長、日本観光振興協会（日観振）の最明仁理事長、日本政府観光局（JNTO）の蒲生篤実理事長にTEJの意義、観光の動向などについて語り合っていただいた。

旅の総合イベントとして成長

主催3団体のトップが記念撮影。足下には、ツーリズムEXPOジャパン公式キャラクター「ハシビリョコウ」

――今年のTEJのポイントを教えてください。

原会長　昨年は愛知での開催だったので、2年ぶりに東京での開催となる。今回は、会場となる東京ビッグサイトのリノベーションにより、希望者全員に出展していただくことができた。出展総数は1400小間を超えており、国内46都道府県、海外70カ国・地域を超える参加があり、全体の約6割が国内から、約4割が海外からの出展となる。来場者数の目標は、2024年の東京開催と同じ18万人を目指していく。

今回のTEJのポイントとしては大きく四つある。

一つ目は「観光DXの推進」。最新のデジタル技術やAI（人工知能）をいかに旅行、観光産業に取り入れていくかは業界全体の課題だ。シンポジウムやセミナー、同時開催の「トラベルソリューション展2026」を通じて観光DXの方向性を探っていきたい。

二つ目は「高付加価値化への取り組み強化」。テーマ別に新たな旅のスタイルを提案する展示エリアを再編し、今回は「TEJコレクション」というエリアを新設する。従来のスポーツツーリズム、星空ツーリズム、コンテンツツーリズム、クルーズ、アドベンチャーツーリズムなどのほか、新たに「ウェルネスツーリズム」と「ガストロノミーツーリズム」を追加した。目的型旅行の魅力、各地の多彩な観光資源を紹介していく。

三つ目は「多様化する旅の提案」。観光産業、観光地域は、多様化する「旅のカタチ」に対応する必要がある。今回のTEJのウェブサイトやポスターに使用しているキービジュアルは、従来のように旅行者の姿を表現したものではなく、多様な旅を提案し、旅行者を歓迎する観光産業、観光地の側を表現するものにした。提案する側、受け入れ側の視点を意識した情報発信も強化したい。

そして四つ目は、横浜市で来年開催される「2027年国際園芸博覧会」（GREEN×EXPO 2027）の情報発信だ。博覧会協会からの出展もあるので、われわれとしても成功への機運醸成など、開幕に向けて全力で応援していきたい。

――TEJは2014年に初開催され、コロナ禍などを乗り越えて今回に至っています。イベントとしての成熟度をどう考えていますか。

原会長　TEJは、JATAが主催していた海外旅行博「JATA旅博」と、日観振が主催していた国内旅行博「旅フェア日本」を統合し、さらにJNTOを主催団体に加え、「VISIT JAPAN トラベル＆MICEマート」（VJTM）を合同開催する形にして発展してきた。インバウンドの拡大もあり、観光産業への期待感が高まって、さまざまな企業がTEJに参画するようになった。総合的なイベントに成長してきたと考えている。

TEJは、海外の旅行見本市などと比べると、とてもユニークだ。海外の見本市は、BtoBの商談に焦点が当てられたものが多い。もちろんTEJでも商談はしっかり行っているが、併せてBtoCで旅行の楽しさを発信し、旅の機運を醸成することを大きな目的としている。加えて、国内旅行も、アウトバウンドも、インバウンドも網羅した総合的なイベントとして充実してきている。

（12面に続く）

ツーリズムEXPOジャパン／MICE特集

観光経済新聞
購読・電子版
購読はこちら▶

ツーリズム EXPO ジャパン 2026
9.24(Thu.)-27(Sun.) 東京ビッグサイト
ツーリズムEXPO 検索
9月26日(土)・27日(日)一般日入場料(税込)
場券：1,200円 / 当日入場券：1,500円
9月24日(木)・25日(金)は、業界関係者のみの展示商談会となり、一般の方は入場できません。
お問い合わせ　ツーリズムEXPOジャパン推進室 TEL:03-5510-2004 event@t-expo.jp
●学生は公式ホームページから来場登録を行い、会場で当日有効な学生証をご提示いただける方は無料で入場いただけます。
●小学生以下のお子様のみでの入場はできません。保護者が同伴する場合に限り、無料で入場いただけます。
前売入場券発売中! チケットは公式ホームページ・コンビニにて
【主催】公益社団法人日本観光振興協会 / 一般社団法人日本旅行業協会 / 日本政府観光局(JNTO)
【特別協力】一般社団法人全国旅行業協会　【後援】国土交通省 / 国土交通省観光庁 / 総務省 / 外務省 / スポーツ庁 / 文化庁 / 厚生労働省 / 農林水産省 / 経済産業省 / 環境省 / 東京都 / 公益財団法人東京観光財団 / 独立行政法人日本貿易振興機構(ジェトロ) / 独立行政法人国際協力機構(JICA) / 一般社団法人日本経済団体連合会 / 日本商工会議所 / 東京商工会議所 / 一般社団法人日本コンベンション協会
【協賛】
JCB 世界にひとつ。あなたにひとつ。
The HAWAIIAN ISLANDS / TOURISM MALAYSIA. / ANA Inspiration of JAPAN / JAL / STARLUX / HANEDA Japan Airport Terminal / HANEDA Tokyo International Air Terminal / Narita Airport / JR東日本
株式会社オリエンタルランド
東京海上日動火災保険株式会社